

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

第68回 七尾港まつり

第68回七尾港まつりが今年も盛大に開催された。今年は天候に恵まれず、ちびっこカーニバルが延期(延期日:8月29日)、ベイサイドミュージックが中止となり、少々寂しい思いがした。それでも、子どもちょうちん行列、総踊り、御祓川まつり、七尾太鼓祭りなどは無事に行われ、大いに賑わいをみせた。また、矢田新第1埠頭には、七尾港開港110周年を記念して、自衛艦「ひうち」と「うみたか」が入港し、夏休みの思い出作りにと親子連れが多く訪れていた。

七尾は港を中心に栄えたことで、海と港の恩恵に感謝する祭りとして「七尾港まつり」を開催している。今後も市民全体が集うイベントとして末永く続くことを期待したい。



7月19日:「御祓川まつり」で大祓い神事



7月18日:子どもちょうちん行列



7月19日:第31回七尾港まつり総踊り①



7月19・20日
自衛艦「ひうち」(写真左)、「うみたか」(写真右)



7月20日:2009 七尾太鼓祭り



7月19日:第31回七尾港まつり総踊り②

7月12日(日)、七尾消防訓練場において、平成21年度七尾鹿島広域圏事務組合消防団連合訓練大会が行われた。七尾市と中能登町から29分団の消防団がポンプ車操法訓練などで競い合い、日ごろの消防活動や防火活動の成果を披露した。各分団とも機敏な動きで、実際の消火活動でも迅速な対応を心掛けている証拠である。

消防団は、自分の本業を持ちながら「自分たちの町は自分たちで守る」という心で、地域の安全と安心を日々守るために活躍している。また近年は、女性の消防団への参加が全国的に増加している。

男女問わず、自分たちの住む地域を自分たちで守ることが、地域のつながりであり、結束力である。今後の消防団の活躍に期待を込め、地域防災に努めてほしい。



指揮者の合図で動き出す



ホースを担いで走る



ホースを伸ばす瞬間①



ホースを伸ばす瞬間②

七尾鹿島広域圏事務組合消防団連合訓練大会



ホースおよび筒先(ノズル)の準備をする



指揮者の合図で放水開始



標的に向かって放水作業

七夕の短冊に願いを込めて♪ 本宮保育園



6月19日:フォーラム七尾

「たった一つの命だから」朗読＆バイオリンコンサートがフォーラム七尾で行われた。全国から寄せられた「たった一つの命だから」に続くコメントをワンライフプロジェクト石川七尾支部の方が朗読したあと、出席した子どもたちも自分で感じたことを朗読していた。

「たった一つの命だから」朗読 & コンサート 七尾子ども劇場



7月3日:本宮神社

七夕を前に本宮神社境内で、本宮保育園の園児たちが自分たちで作った短冊を竹籠にくくり付けた。いろんな願い事が書かれたもの、星型のもの、キャラクターものなど数多く飾り付けをした。飾り付けが終わったあと、園児たちは「笹の葉サラサラ♪」と大きな声で歌っていた。



7月8日:大森さん宅

7月8日、大森トモエさんが100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えた。現在は、三女の山口志鶴子さん宅で暮らしており、1日3度の食事もきちんと取っている。武元市長から「これからも長生きしてください」と声を掛けられると「ありがとうございます」と答えていた。

百寿(100歳)お誕生日おめでとう 大森トモエさん



7月9日:七尾市役所

7月24日～26日、神戸市で開催される全日本卓球選手権大会バンビの部に出演する越岡滉周くん(5歳)が谷済美幼稚園が武元市長に大会出場に向け表敬訪問した。卓球を始めたのは今年の1月から。将来は、松平兄弟のようになりたいと。

全日本卓球選手権大会 バンビの部(小学2年生以下)出場



7月14日:能登演劇堂

能登演劇堂で行われた七尾市私の主張発表大会において、御祓中学校3年杉田佑夏さん(写真)が見事3年連続で最も優秀な成績の七尾市長賞に選ばれた。今回の発表では、10人の生徒が学校や私生活での体験談を自分なりの言葉にして、会場にいる人たちに投げかけていた。

見事！ 3年連続 七尾市私の主張発表大会



7月15日:舟尾町内の畠

舟尾町で、今年の3月に自分たちで種芋を植え、各保育園の看板を立ててある坂口惣治さんの畠に、収穫を待ち望んでいた園児たちがジャガイモ掘り体験を行った。7保育園165名の園児たちは、「いっぱい獲れた！」と喜び、収穫したジャガイモを早く食べたそうにしていた。

「いっぱいジャガイモ掘ったよ♪」 ふれあいジャガイモ掘り体験